

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月定例会）
開催日時	平成25年2月15日（金曜日）午後4時30分から5時15分まで
開催場所	保谷庁舎4階 研修室
出席者	委員：須永議長、齋藤副議長、内田委員、川崎委員、倉島委員、操野委員、白木委員、濱崎委員、原委員、矢野委員 （欠席）稲葉委員、本領委員、山田委員 事務局：吉田係長、神田主査
議題	(1) 社会教育施策の今後のあり方について (2) 報告 その他
会議資料の名称	資料1 社会教育施策の今後のあり方について（提言骨子）案
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
(1) 社会教育施策の今後のあり方について ○議長： 骨子案について、前回会議の内容を受け、配布資料1「社会教育施策の今後のあり方について（提言骨子）案」のとおりまとめたので、ご意見を伺いたい。 ○委員： 財政がひっ迫する中、お金のかかる行政サービスを求める内容の提言にはならないだろう。これからの行政の役割、存在意義は何かを考えた時、旗を振ることではないかと思う。例えば、NPOや民間の行う社会教育事業に対して、行政が推薦したりアピールすることで、安心して事業が実施出来るし、市民も参加しやすくなるだろう。行政の支援策として、市民の活動の質を保証し、励ますというイメージの施策展開も考えられるのではないだろうか。 ○委員： 「目指すもの」の前に、当面の課題を入れたらどうだろうか。その方が課題をベースにした今後の施策の提言ということで、流れがわかるように思う。 ○事務局： 最終的な提言では、課題についても書き込みたいと思うが、現段階では議論が不十分で、精査されていないように思う。 ○議長： 提言に向け、集中的に議論していきたいという項目について、骨子として示した整理	

になっている。

○委員：

提言の具体的な内容はこれから詰めていけばよい。提言に向けての流れが示されていればよいと思う。

○委員：

提言2の「（施策2）文化財の活用」と「（施策3）地域人材の育成と活用」の順番を入れ替えたらどうか。

○委員：

「（施策2）文化財の活用」は組織の改編と連動しているか。

○事務局：

組織については、提言3で言及するイメージである。

○委員：

今回の研修内容についても、提言の中で活かせる内容は生かしていけばよいと思う。例えば、「東京都の地域プラットフォーム」の話は、会社やメーカーが違ったものをプラットフォームに集めて共通のものにしていきましょうという考え方である。行政でも、教育と市長部局では方針や施策がかみ合わないという状況があると思うが、プラットフォームの考え方でいくとその調整が必要ということになり、提言3の「（施策3）生涯学習推進担当の設置」という内容がその役割を果たすものといえるだろう。また、今後の教育委員会制度についての国の動向なども情報を収集し、教育行政が進む方向とずれないような提言にしていく事も必要だろう。

○議長：

施策の内容を書き込んでいく中で、最終的にはまた施策の順番やタイトルも検討することになるだろうが、現時点での骨子案ということでご理解いただき、今回でた意見を基に、再度骨子案を調整し提出したいと思う。最終調整は、正副議長に一任していただきたいがいかがでしょうか。

○全委員：

異議なし。

○議長：

次回は、提言（案）について検討したい。前回会議で配布した提言案文を見て頂き、今日の研修会の内容をどこに活かせるかも考えてきて頂きたい。また、次回会議以降、必要に応じて臨時会を開くなどして提言策定を進めていきたいが、委員の方に、意見を文章化していただくことをお願いすることもあると思うので、よろしくお願いしたい。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（2月定例会）は終了する。

※次回会議 平成25年3月15日（金曜日）午後2時から